

## 令和7年度 特別委員会活動報告

### 議会改革特別委員会

令和7年度の主たる委員会活動は、「議員定数について」です。土岐市議会議員選挙を1年後に控え、次期の議員定数を明確に示すべきとし、人口5万人～5万5千人の全国34市と岐阜県下21市の現況を踏まえた上で、本市の人口、面積、経済財政の視点から近隣市の状況などから議論を重ねてまいりました。

議論は現状維持を主張する委員と削減を主張する委員の間で議論が交わされました。両意見は、結論に至りませんでした。そこで、令和7年10月に開催されました議会報告会のテーマで市民の声をお伺いしました。議会報告会でいただいたご意見は様々ありました。主な意見として、今後の人口減少を見越し議員定数を削減すべきとの意見がある一方で反対意見として、議会の機能を強化すべきであり、定数を削減すると議論の多様性や執行部に対する監視機能が低下する恐れがある。また、議員定数の削減は門戸を狭めることになり、議員のなり手不足現状解消の逆効果になるとの意見もありました。

議会報告会でいただいた貴重なご意見を委員会に持ち帰り、委員間討議を重ね全委員が合意形成に努めましたが合意には至らなかったためやむなく採決により、次期選挙の議員定数を現状維持の18名とする結論に至りましたので、ここに報告いたします。

令和7年度 議会改革特別委員会委員長 小栗 恒雄

### 広報広聴特別委員会

今期は、土岐市制70周年記念ということで、9月には議場にて親子を対象にクイズ「議場へGO」を実施したところ多くの親子さんたちが参加していただき、とても和やかな中、議会を身近に感じてもらえたのではと思いました。

一方中学校6校区で毎年行っている議会報告会については、女性の方も参加しやすいように今回は祝日にも1回追加で



開催し、そこでは女性の方の参加もありましたが、各中学校区では女性の方の参加が例年のように少なく、全体としても前年より参加者減となりました。これは、今回のテーマが市民の方の関心が低かったからかもしれません、今後の大きな課題と考えます。また、グループでの市民の方との討議は内容を再考しなければならないと思います。市民の方がどのような問題を抱えているのか耳を傾け、執行部へ議会として提言できるような報告会にしなければなりません。今回視察で伺ったように、各種団体との報告会、と言うよりも、意見懇談会として実施しなければと強く思いました。

令和7年度 広報広聴特別委員会委員長 北谷 峰二